

石材コケ・カビ取りマニュアル

コケ・カビ取りの手順

1

準備するもの

- ① 市販の塩素系洗剤（写真はホームセンターで購入した、石材用コケカビ黒ずみ落としとカビキラーです。）※どちらも効果があります。
- ② タワシ
- ③ ゴム手袋
- ④ 水



2

コケ・カビが生えた部分へ洗剤の塗布作業

【VOL.11 P33 カイセリ ブラック】

- ① カビ・コケが生えた石材へ塩素系洗剤を吹き付けます。
症状: 表面にコケが生え、緑がっています。



- ② 下図のようにまんべんなく吹付けます。数分間おいた後、タワシで擦ります。



- 【注意】石材の種類によっては、擦り過ぎにより欠ける場合がありますので、ご注意ください。
- 吹付けの前に水かけると、薬剤が馴染み易くなります。

- 水でしっかりと薬剤を洗い流します。
- 洗い流す際は、手で擦りながら薬剤を落とします。



他石材での検証結果

【VOL.11 P94 琉球石灰岩 ぐり石】

- Before
症状:コケ・黒ずみ



- After



他石材での検証結果

【VOL.11 P39 ジンバラン】

- Before
症状: コケ・黒ずみ

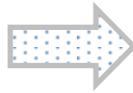


- After



【VOL.11 P143 ルストページュ天端4面割肌】

- Before
症状: コケ



※ラップで巻きます
(乾燥が防げます)

- After



※ラップを用いる事で、薬剤の効果が上がります。
この実験では、一切タワシで擦らずコケが落ちました。

注意

- それぞれの市販の薬品は、特徴・使い方がございます。
ご使用の際は、各薬品の説明書に沿った手順で使用を進めてください。
- 洗剤が残っている場合、塩素分が黄色く残る可能性があります。
使用後は綺麗に洗い流してください。
- 塩素系洗剤はアルカリ性になります。酸性タイプの薬品と混合したり、同時使用を行うと有毒ガスが発生します。
- コケ・カビの菌と一緒に**石材の色も落ちる場合があります。(漂白作用)**
※色が抜けた箇所は戻りませんので、目立たない場所でテストをしてください。
- 必ずしも期待された効果が見込めない場合もございます。
ご理解・ご了承の上ご検討ください。